

塩野直道賞

中学校の部

父への請求書発行

鹿児島県 鹿児島大学教育学部附属中学校 1年 川原 千鶴

講 評

毎月もらえるはずのお小遣いが小学6年生から中学1年生までの17か月間支払われていませんでした。未払いのお小遣いを父親に支払ってほしいという切実な願いの結果がタイトルにある請求書発行です。

債権に対し定期預金，外貨建て預金，遅延損害金請求，それぞれの返還額を計算し，いちばん大きいものを請求書に用いるという作戦です。

中学生が自ら金銭に対して利息の計算をするという新鮮さと現実感，そして真剣さが伝わる仕上がりが評価できます。

中央審査委員会